

小呂湿地の概要

小呂湿地は、岡崎市小呂町の標高160～170mの尾根の谷間に成立した湿地です。かつて、水田としての利用がなされていた本湿地では、植物等の堆積による泥炭湿原の様相もうかがえ、本市最大の北山湿地とは一線を画した生態系となっています。北山湿地では見ることのできないツヤネクイハムシやホソクロマメゲンゴロウが生息しています。また、小呂湿地を代表する植物として、夏になるとサギソウの群落を見ることができます。

この希少な生態系を守るために、令和5年4月に市の自然環境保護区に指定されました。また、令和5年8月には、本湿地の希少な動植物や生物多様性が評価され、県の天然記念物に登録されました。

来訪者へのお願い

小呂湿地には、湿地固有の貴重な動植物が見られます。ここでしか見られないものもあり、わずかな環境変化が生態系を乱し、絶滅に迫りやすることもあります。「持ち込まない」「持ち出さない」「踏み込まない」の3原則を守っていただき、優しい気持ちで自然のいとなみを観察してください。



岡崎北高校調査風景

おかざき湿地保護の会保全活動

小呂湿地では、岡崎北高校、おかざき湿地保護の会、岡崎市動植物調査会で、調査や保全活動を実施しています。絶滅危惧種等の遺伝子調査も行っています。



交通のご案内

小呂湿地には駐車場はございません。東公園から散策がてらお越しください。

岡崎市環境部環境政策課

岡崎市十王町二丁目 9 番地

TEL 0564-23-6188 FAX 0564-23-6536

e-mail kankyoseisaku@city.okazaki.lg.jp

古紙パルプ配合・再生紙使用
R5. 9. 4000

愛知県登録天然記念物・岡崎市自然環境保護区

小呂湿地

ORO SHICCHI



岡崎市